

避難支援の常識が変わる。

避難行動要配慮者等災害弱者を安否確認対象者として名簿化し、有事の際には本システムにて一斉安否確認を発信、大量の安否確認情報や救助支援依頼を短時間で把握することを可能にします。

「グラスフォンfor防災」が避難支援に必要な日常運用業務を強力に支援し、有事の際の最も大きな空白をなくします。

GrasPhone for防災 ホーム 発信 設定

震度6の地震沿岸部... 一時停止
経過時間 7分

連絡済みの人数
52人 / 268人 (19%)

60% 20% 10%

● 連絡中 26人 ● 安全 160人
● 危険 53人 ● 注意 24人
● 判別不能 0人 ● 未連絡 5人

ステータス: 指定なし 支援者: 指定なし キーワード

ステータス	名前	年齢	住所	優先度	種別	支援者	連絡時間
安全	田中太郎	52	筑東市大城54-2	→	要介護	佐藤 広志	今日 13:21
連絡中	山田 花子	39	岡津市南桜坂5-3	→	精神障がい	南 恵美子	今日 13:23
危険	伊藤 翔太	50	小館市針尾岳21	↑	身体障がい	南 恵美子	今日 13:21
注意	佐藤 洋子	86	南本市上砂金9-1	→			今日 13:22
安全	鈴木 健司	91	七頭郡南川町高	→			
連絡中	鳥田 武	51	福田市大原岡51	→			
安全	藤井 涼介	65	柴岡郡堀本町...	↑	身体障がい	広田 美希	
注意	清水 香	78	橋咲市長島4-3-1	→	要介護	本田 大喜	
危険	川田 学	65	目白区大島129	→	身体障がい	大山 幸之助	
注意	岩井 士郎	72	山岡市上町3-45	→	要介護	松本 考輔	

先ほど震度6の地震が発生しました。「助けはもらえない」は1を「助けが必要」は2を「今すぐ来て欲しい」は3をプッシュしてください。

グラスフォン 安否確認の連絡

1 2 3
4 5 6
7 8 9
* 0 #

自治体での日常業務

複数の名簿から 配信名簿を自動作成

- ・「避難行動要支援者」の名簿管理
- ・避難支援スタッフの名簿管理
- ・複数名簿の統合管理



災害発生時

一斉高速架電で 被災者に安否確認

- ① 安否確認の質問 / 回答作成 (文字入力)
- ② 入力された文字を AI で音声に自動変換
- ③ 10分で1万人に一斉架電
- ④ 被災者は電話の数字ボタンで安否回答

安否結果を リアルに集計

- ① 安否確認結果の即時集計
- ② 被災者を地図上にプロット
- ③ 自動レポート作成

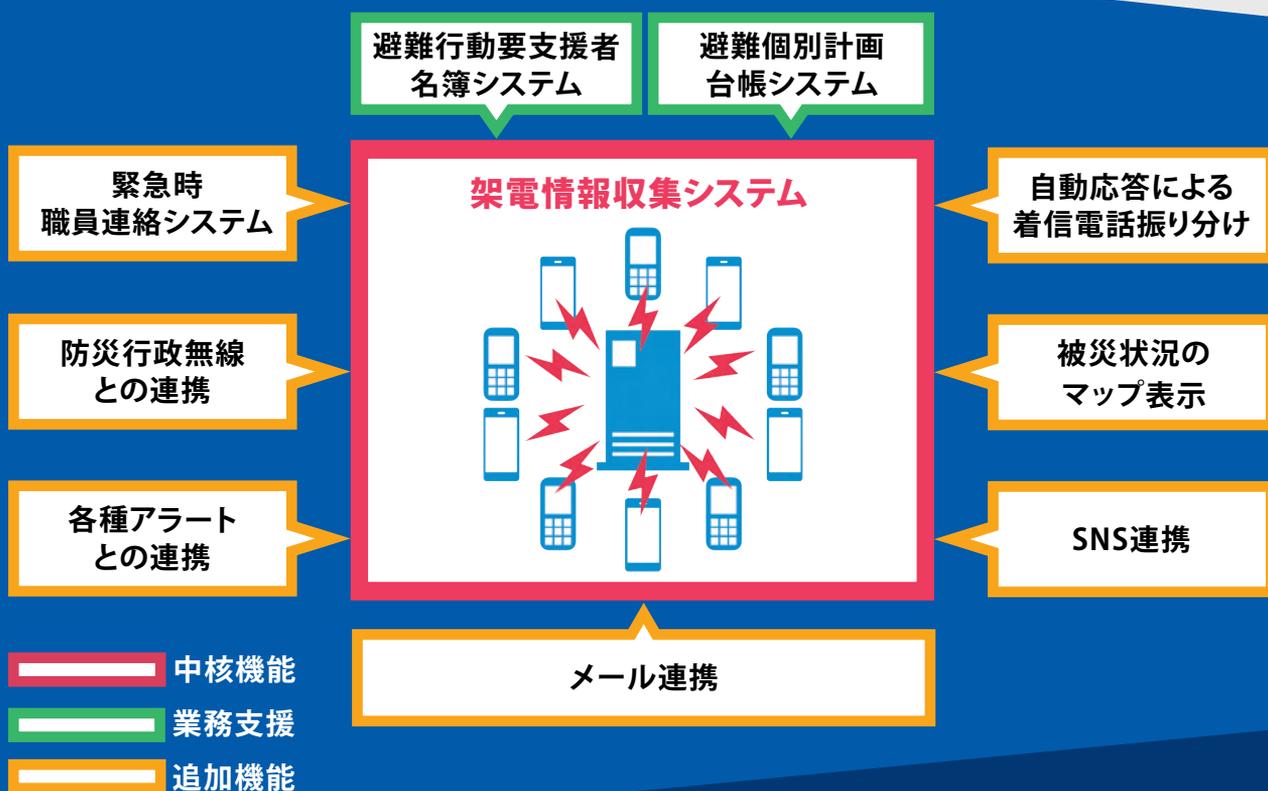


「GrasPhone (グラスフォン) for防災」は 短時間災害状況把握システムを軸とした “災害対応統合ソリューション”です。

ほとんどの自治体が抱えている慢性的な課題を解決 >> 自治体の災害対策においては、災害時の連絡体制の構築、防災行政無線や防災情報配信システムの整備と住民の避難訓練等の備えしかできていないのが現実です。過去の大災害において、“情報収集”の遅れや矛盾が最も被害を大きくした原因であったにも関わらず、既存の通信インフラに依存した計画はすぐに破綻し、マンパワーで情報収集や安否確認を行うという流れは変わることなくずっと続いています。

安否確認行動をゼロに >> 主に避難行動要配慮者等災害弱者を安否確認対象者として名簿化し、有事の際には本システムにて一斉安否確認を発信することで、大量の安否確認情報や救助支援依頼を短時間で把握することが可能となります。

有事の際の最も大きな空白を埋めるシステムと運用の大きなサイクルが「グラスフォンfor防災」です。



導入フロー例

グラスフォンfor防災は運用を最優先したシステムインテグレーションです。

